

第 10 号	大地協通信	NPO 大阪市地域福祉施設協議会 事務局：わかくさ保育園 大阪市西成区萩之茶屋 2-9-2
---------------------	--------------	---

(1)全体としての動き

- 第 18 回全国研修を学びの大きいうちに終え、記憶の新鮮な間にという事で 4 月 22 日に報告会を持ちます。第 19 回は大阪開催だけにみんなで課題を共有しながら新たな構想を練っていきます。
- 「セツルの家」のトイレ改修のため郵便局の助成金を申請していましたが、残念ながら今回は選から漏れてしまいました。気持ちよく利用できるための改装について、今後共各方面に働きかけていきます。

(2)各委員会・研究会の報告と予定

①職員厚生部

- 特になし

②広報宣伝部

- 研修会の案内や通信など、FAXからメール送信への切り替え作業を行っています。メールにて届いていない所に関しましては、事務局までメールアドレスをお知らせください。

事務局メールアドレス wakakusa@crux.ocn.ne.jp

③地域の子育て支援研究会

- 報告

- ・ 9/9（月） 愛と勇気づけの親子関係セミナー「SMILE」
講師の大井愛美さんと呼んでの研究会を行う。自己肯定感、自立心、貢献心を育む子育て法を学ぶ。「勇気づけ＝困難を克服する活力を与えること」。勇気を持って前向きな人生を歩む方法を学ぶ。
- ・ 3/7（金） 子ども・子育て支援新制度についての研究会
2015年から施行される子ども・子育て支援新制度の概要について、幼保連携型認定こども園についての研修会を行うための勉強会を行う。

④地域の子ども研究会、⑥障がい児・者研究会

- 地域の子ども研究会と障がい児・者研究会で、コラボ研修会を行う。

日時：平成26年2月21日（木）19：30～21：00

場所：育徳園3F 幸文ホール

参加：9施設 24名

内容：障がいのある子どもと関わる支援者を中心に、日常の子どもへの関わり、保護者・家族支援、その他様々な視点から討議する。

- ◆4つのグループに分かれ、【遊び・食事・排泄・対人・睡眠・家庭支援・生活・居場所・地域・

学習・多文化・趣味・余暇・その他】から2つのキーワードを選択し、討議する。

◆各グループで座談会申込時に記入のあった“現場での悩み”について討議する。

『ハンディを持つ子どもに対応する職員が固定化することによるメリット・デメリットは？』

⑤地域のお年寄り研究会

○報告

平成26年2月24日（月）地域のおとし寄り研究会担当者会議にて、以下の点を話し合う。

①開催予定の講演会について

- ・テーマは精神疾患（躁鬱・統合失調症）を伴う認知症高齢者への関わり
- ・開催時期については、5月か6月となる。
- ・講師は、現在依頼中

②今後の活動について

- ・参加施設を増やすためにも各施設にフィードバックさせやすい内容にする。

4月 レクリエーション発表会

5月もしくは6月 講師による講演会（上記記載あり）

7月もしくは8月 地域に焦点をあてて様々な孤独について（グループディスカッション）

○次回予告

日時：平成26年4月24日（木）18：30～20：00

場所：特別養護老人ホーム いくとく

内容：レクリエーション発表会

参加対象：参加自由

※今回は日頃デイサービスで活用しているレクリエーションなどを発表し合います。高齢者施設に限らず、子ども関係にも使えるような遊びがあるかと思しますので是非たくさんのご参加お待ちしております。

⑦セツルメント研究会、⑧卓球指導者研究会、⑨山の家事務局

⑩セツルの家事務局、⑪ワープキャンプ事務局

については今回報告事項は特にありません

⑫その他

○2014年度総会（5月開催予定）にむけて、議案書制作の作業をすすめていきます。各委員会、研究会など、担当の方は、2013年度の活動報告、および2014年度の活動計画（案）を以下の項目に留意し作成、メールにて送信下さい。

- ・ワードにて作成。細かい調整は事務局で行います。A4（1枚～3枚程度）にまとめて下さい。
- ・活動報告は、①年間の活動方針、ねらいなど ②具体的な活動報告 ③評価、反省、課題点
活動計画（案）は、①年間の活動方針、ねらいなど ②具体的な活動計画 ③その他（何かあれば）の項目で作成してください。

× 切：4月26日

送信先：わかくさ保育園 蕨川まで（wakakusa@crux.ocn.ne.jp）